



西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

《 学 校 教 育 目 標 》

—夢がわき 心もはずむ 西小の子—

- ・素直で心豊かな子
- ・進んでくり返し学習する子
- ・ねばり強くたくましい子

体験を通して育む自主・自立 ～宿泊学習を通して～

校 長 石 田 成 夫

一昨年の学校だより 11月号の書き出しには「子どもたちの中にも、手袋やネックウォーマー、厚手のアウターを見かけるようになりました」と書いておりましたが、今年は10月に入っても気温が20℃を超える日が続き、最終週になってようやく寒さを感じるようになりました。近年、日本の季節から春と秋が無くなってきたという声が聞かれるようになりましたが、古来より日本の自然の美しさの象徴であった四季の変化を感じにくくなってきたことは、少し寂しく思います。秋が暖かった分、冬の足音が聞こえたら急速に寒くなっていくと思われますので、保護者、地域の皆様におかれましても体調管理に御注意いただけたらと思います。

さて、先日、6年生と一緒に日光へ修学旅行に行っていました。現地でも気温が高く、特に初日の東照宮では半袖で見学している子どももあり、私自身の引率経験の中でも、最も暖かい日光でした。この暖かさのせいか、あたり一面の紅葉…というほどには紅くなっておりませんでした。戦場ヶ原の湿原に広がる枯れすすきや、雄大な男体山、華厳の滝の迫力は、子どもたちの心に自然の偉大さと美しさを感じさせてくれました。

また、その直前には、5年生が2泊3日で館岩自然の教室に行き、現地での天候にも恵まれ、予定通りの野外活動を終えることができました。家の敷地や施設、自然の素材を活用した多様な体験活動を通し、子どもたちは一回り大きく、たくましくなって西浦和に帰ってきました。



華厳の滝を見る6年生



前山頂上で休む5年生

本校では、5年生で館岩自然の教室、6年生で日光での修学旅行という2つの宿泊学習を経験します。それぞれ、目的や活動は異なりますが、親元を離れ、友だちと寝食を共にする活動は、子どもたちの自立を促し、自主性や主体性を高める貴重な学習機会となっています。今年度の本校のグランドデザインにおいて「予測困難な時代を生き抜くためのエージェンシーの育成」を掲げさせていただきましたが、これらの経験が子どもたちの心の糧となり、未来を切り拓く活力に繋がってほしいと思います。

《 心を潤す4つの言葉 》

11月は「心を潤す4つの言葉」を啓発、推進する月となっております。子どもたち・教職員・保護者・地域の皆様方が、積極的に気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わすことによって、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりを目指します。

西浦和小の各教室には、気持ちのよいあいさつ「おはようございます」、気持ちのよい返事「はい」、感謝の気持ちを伝える「ありがとうございます」、素直に謝る「ごめんなさい」を「心を潤す4つの言葉」として、啓発ポスターが掲示されています。子どもたちにも声をかけていきますが、各家庭、地域におかれましても、この4つの言葉を通して、豊かな心と人間関係を育んでいただけたらと思います。

